



取付説明書

取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。
電動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されているものは、それに基づき電気工事をおこなってください。

安全上の注意

- 取り付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けをおこなってください。
 - ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じる安全が想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**
- 注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。**
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
- 記号は行為を禁止する内容を告げるもの。図の中の禁止記号（左の場合は分解禁止）が描かれています。
- 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

- 警告**
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
 - 交流 100V 以外では使用しないこと
発火・感電の原因になります
 - レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります
 - アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください
 - レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは、所載の消防指針に問い合わせください
 - 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります
 - 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
 - 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります

- 注意**
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの本造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合は、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
 - レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラッパ網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります
 - 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配線を確認すること
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります

- 注意**
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
感電および故障の原因になります
 - 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります
 - 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります

- 注意**
- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
 - レンジフードの取り付けは、十分な強度のあるところを選んで確実に設置すること
落下によりけがをするおそれがあります
 - 部品の取り付けは確実にこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります

取り付け上のお願

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
 - ・大工工事【設置のための下地工事等】
 - ・配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】
 - ・管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
- 流通業者（販売店）を通じて組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別して おこなってください。
- ダクトの不燃処理について
 - ・ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣認定品の不燃材料で被覆してください。
 - ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」「検査要領書」に従ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集性能が低下します。
- 部屋の中央で調理される場合は、油煙が捕集されませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気性能をいじりしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- レンジフード取付部の補強部に、取付用座ねじが確実に届くことを確認してください。本体の取付用座ねじは 45mm の長さのものと同梱されていますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。
- レンジフードは調理機器の真上に取り付けてください。なお、レンジフード取付高さは、レンジフードの下端が調理機器の真上 80cm 以上になるようにしてください。
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けず、また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m²/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 建物が密閉されている場合は、約 400cm³ 程度の空気取入口を設けてください。
- 寒い地域ではダクトが結露しレンジフード内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。
- ダクトは必ず屋外側に向けて下向きに設置してください（目安：勾配 1/100 ～ 1/50 程度）。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。
- 汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。

取り付け前の調査と準備

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは、所載の消防指針に問い合わせください
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラッパ網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります

注意

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります
- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
- レンジフードの取り付けは、十分な強度のあるところを選んで確実に設置すること
落下によりけがをするおそれがあります

1 取付面の強度確認
製品を支える強さが必要となります。

取付面の強度確認	高さ 500	高さ 600	高さ 700
600 幅	13.5	14.0	14.5
750 幅	13.0	13.5	14.0
900 幅	16.5	17.0	17.5

2 板張りの場合（取付面は必ず不燃処理をおこなってください）
● 板厚が 20mm 以下の場合は壁に補強板を埋め込み、補強板にレンジフードを取り付けてください。
● 板厚が 20mm 以上の場合は補強板の必要はありません。

3 コンクリート、タイル壁の場合
● あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

4 土壁の場合
● 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。

5 別売部品の準備
排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

6 標準取付寸法
本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面から製品の下端まで 80cm 以上です。
※ 火災予防条例では、ガスフィルターの下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となっています。

7 電源コンセント・ブレーカー
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（交流・単相 100V）
コンセントは、JIS C 8303 2 種差込接続器 15A 125V をご使用ください。

8 お願い
必ずアース工事（D 種接地工事）をしてください。レンジフードが誤動作することがあります。

各部のなまえ

前板、電源プラグ、ファン、本体、照明カバー、スイッチ、スロットフィルタ（ガスフィルター）、前板固定金具、フック、本体ツメ穴、前板ツメ穴

付属品

- 座付ねじ (φ5.1 × 45) 4 本
本体の取り付けに使用します。
- 木ねじ (φ4.5 × 45) 2 本
本体の取り付けに使用します。
- 排気口 1 個
本体とダクトの接続に使用します。
逆風防止シャッター付きです。
- ソフトテープ 1 本
排気口とダクトとのすきまをふさぐのに使います。
- アルミテープ 1 枚
前板内面に貼り付けます。
- スロットフィルタ
・600/750 幅 2 枚
・900 幅 3 枚
本体に取り付けます。

製品寸法図

（単位：mm）

※ 製品高さが 600mm 未満の場合は、別売の L 形ダクトを使用できません。

※ 後方排気の場合（別売 L 形ダクト使用）

※ 側方排気の場合（別売 L 形ダクト使用）

※ 上方排気の場合

※ 製品下からフィルター下まで

取り付けかた

1. 付属品の確認

注意

- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

付属品を確認します。
梱包箱から付属品を取り出し、上項の付属品一覧により不足がないか確認します。

8 お願い
● 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
● 保護用のクッション材と固定テープは「8. 組み立て」まではずさないでください。
● 床で作業する場合は、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

2. 前板をはずします。

（図 3-2）

- 1) 前板固定金具を右図のように 90 度傾けてロックを解除します。
- 2) 前板を両手で持ち、前板ツメ穴を本体ツメ部からはずし、前板を手前へ引いてはずします。

8 お願い
前板の取りはずしは、本体ツメ部が変形しないように注意しておこなってください。

3. 本体を壁面に固定します。

（図 5-3）

座付ねじ (φ5.1 × 45) 4 本で本体取付位置 4ヶ所をしっかりと締め付けます。

4. 排気用部品の準備

※ 「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用意してください。

1 上方排気の場合（図 4-1）
排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。

2 製品についての取付ねじ 2 本を取りはずし、付属品の排気口を差込部に差し込み、取付ねじで取り付けます。（図 4-2）
※ 取付方向は右図を参照してください。

3 側方および後方排気の場合（図 4-3）
（別売品の L 形ダクトを使用する場合）
排気口に付属品のソフトテープを貼り、L 形ダクトに取り付けます。
取付方向は、シャッターの開閉方向が下方になり、レンジフードを運転していないときはシャッターが開くように取り付けます。
排気口は、L 形ダクトに付属している取付ねじ (M4 × 8) 4 本で L 形ダクトに取り付けてください。
※ 本体への取り付けは、製品の取り付け後におこないます。（「6. ダクトと排気用部品の接続」参照）
※ 製品高さが 600mm 未満の場合は、別売の L 形ダクトを使用できません。

2. 排気方向の決定

警告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの本造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合は、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります

注意

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
感電および故障の原因になります
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります

1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ壁穴の開口を依頼してください。（ダクトの風漏れ防止のテーピング作業ができるよう、壁穴は大きめに開けてください。）
また、コンセントの位置を確認してください。

2 φ150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。（コンクリート、タイル、土壁の場合）

5. 本体の取り付け

注意

- レンジフードの取り付けは、十分な強度のあるところを選んで確実に設置すること
落下によりけがをするおそれがあります
- 部品の取り付けは確実にこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります

1 だるま穴用木ねじをねじ込みます。（図 5-1）
製品寸法図を参照し、だるま穴位置（左右各 1ヶ所）に、付属品の木ねじ (φ4.5 × 45) を壁面とのすきま 5mm まで締め付けます。

2 本体を壁面に引っかけます。（図 5-2）
だるま穴用木ねじ（左右各 1ヶ所）をしっかりと締め付けます。
8 お願い
上方排気の場合は、ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

6. ダクトと排気用部品の接続

8 お願い
ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように図を参照してドリリングタッピンねじの使用範囲以内に固定してください。（図 6-1）

1 上方排気の場合（図 6-2）
ダクトと排気口の接続部に風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。

2 排気口設置面の漏れ確認のお願い（図 6-3）
排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとすると、排気口と設置面の形状（フード天面等）が変形し、風漏れが発生してしまふ場合があります。風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転（強運転）をおこなってください。漏風の場合は、排気口と設置面の周りアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。

3 側方および後方排気の場合（別売品の L 形ダクトを使用する場合）（図 6-4）
1 排気口を取り付けます。
L 形ダクトを本体上の差込部に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、はずした取付ねじ 2 本で取り付けます。
2 風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。

7. 電気配線

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
- 交流 100V 以外では使用しないこと
発火・感電の原因になります
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください

分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

8 お願い
● 電源は専用のコンセント（2 種差込接続器 15A、125V）およびブレーカーを設けてください。
● 「9. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。
● コンセントは電源コードの長さを考慮し、設置してください。
● 必ずアース工事（D 種接地工事）をしてください。

4 コネクターを差し込みます。（図 8-4）
「3. 本体の準備」でははずしたコネクターを差し込みます。
8 お願い
コネクターを取り付ける場合は、コネクターの向きを確認し、根元まで確実に差し込んでください。
接続が不十分な場合は、レンジフードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。

5 コネクターカバーを取り付けます。（図 8-5）
「3. 本体の準備」でははずしたコネクターカバーを本体取付部の上部に引っ掛け、取付ねじ 1 本で固定します。

3. 本体の準備

1 コネクターカバー・コネクターをはずします。（図 3-1）
1) 取付ねじ 1 本をはずし、コネクターカバーを矢印の方向に引いてフックからはずします。
2) コネクターのツメ部を押しながら、矢印の方向へ引き抜きます。

2 コネクターカバーを本体に装着します。（図 3-2）
コネクターカバーを本体に装着し、取付ねじ 1 本で固定します。

8. 組み立て

注意

- 部品の取り付けは確実にこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります

1 前板を取り付けます。（図 3-1）
前板固定金具を本体ツメ穴に差し込み、フックを本体ツメ穴に引っ掛けて、前板を手前へ引いてはずします。

2 前板を両手で持ち、前板ツメ穴を本体ツメ部からはずし、前板を手前へ引いてはずします。

9. 試運転

注意

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります

1 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
2 運転時、各連動の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
3 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
4 屋外の排気出口が排気され、異常がないことを確認してください。
5 取り付けまたは各種工事によって発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

10. お客様への説明

● 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
● 取扱説明書と共に、この取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。

【製造元】 FUJIOH 富士工業株式会社
本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺 2 丁目 1 番 9 号
TEL 042(768)3754（営業部）